

■After 建築名称 下段:英語名	大阪ガス実験集合住宅NEXT21 605住戸 「つながる家」 Experimental Housing NEXT21 Unit605 “LINKED HOUSE”		
建築用途	大分類 住居施設	小分類 集合住宅	
改修設計者	クラディング:集工舎建築都市デザイン研究所 インフィル:アルファヴィル一級建築士事務所	URL	
所在地	大阪府大阪市天王寺区清水谷町6-16	Google Map	After 建物外観
改修年	2022年	撮影者 提供者	撮影:桐原武志 2023年
建築規模	建築面積:896.20m ² 、延べ床面積:4,577m ² 、最高高さ: 25.42m、地上6階・地下1階		概要 after 多様になっていく単身世帯の ための住戸。共用部やバルコ ニーとつながる土間空間、使 い分けのできる2つの玄関な ど。
掲載書誌	City&Life136号(2023年12月・アルシーヴ社)他		
賞・選定	大阪都市景観賞(1995)、日本建築学会作品選奨(1996)、省エ ネルギー建築賞(1996)等[NEXT21全体で受賞]		
■Before 建築名称	大阪ガス実験集合住宅NEXT21 605住戸 「DINKS APARTMENT」		概要 before 結婚しても子供を持たず、共 働きの個性的なライフスタイル を続けたいと思うDINKSのため の住戸。
建築用途	大分類 住居施設	小分類 集合住宅	
■写真 Before	改修前住戸:DINKS APARTMENT	After スケルトンのみになった現場	After 改修後住戸:つながる家
			
撮影者 提供者	大阪ガス(株)	撮影者 提供者	大阪ガス(株)
■リノベーション内 容	キーワード 外観改変、増築、減 築、用途変更	内容 都市における近未来の集合住宅のあり方を検証するために大阪ガス(株)が、1993年 に建設した実験集合住宅。社員が居住し、様々な実験に参加している。 100年以上の耐久性を持つスケルトンに、間取りや水回りのレイアウトの変更も可能 な外壁システムや内装を組合せ、再利用も可能にしながら、建物の長寿命化も目指 す。 住戸数は18戸で、すべて間取りが異なり、それぞれ想定するライフスタイルが設定さ れている。土間や縁側などの中間領域を積極的に生かした間取りが多く、立体街路 と呼ばれる共用廊下との関係性も実験の項目とするなど、住まいや住まい方も含め た多様な実験が継続されている。 この住戸改修に当たっては、中年単身者用の間取りがほとんど提案されていない現 状から、対象を決め、設計を行った。 土足利用も可能なタイル貼りのダイニング・キッチンがあり、靴を履いて生活するエリ アを自由に設定できるようになっている。	
■備考	キーワード:耐震壁をなくしたラーメン構造・階高は、1、2階が4.2m 3階以上は3.6 mの高さを確保 ・外壁部分を部品化し、移設や撮りけができるシステム ・共同廊 下の下部を配管スペースとして利用 ・多彩な単身世帯のライフスタイルに対応、 多彩な趣味を楽しむ場、 ・親の介護 ・内土間 ・少子高齢化 ・料理教室		
■作成者 氏名/所属	大阪ガス(株) エナジーソリューション事業部計画部 志波	管理者 記載	